

(8) 雇用施策の推進について

1 若者の雇用支援

(1) おしごと広場みえでの取組

「おしごと広場みえ」では、若者の安定した就労に向け、総合的な就職支援サービスをワンストップで提供するとともに、県内企業の情報のデータベース化による企業情報の充実や、企業の若手社員と若者の交流の場づくり等を進めているところです。

①県内企業の魅力発信

若者の県内就職や職場定着を促進していくため、県内企業の魅力が若者に十分に理解されるよう、情報を発信していく取組を進めます。

- ・県内企業 100 社を対象に、求人情報には記載されない経営方針、社風や先輩社員の声（就職を決めた理由、仕事のやりがい、これからの目標などをQ&A方式で先輩社員の写真とともに掲載）、キャリア形成イメージなど、企業を深く知ることができる魅力的な情報取材して、データベース化を図り、情報提供を行います。
- ・これから就職活動が始まる大学3年生を主な対象とし、若者が企業を理解するためのイベント「企業の魅力発見フェア」を、12月28日に津市のアストホールで開催するとともに、企業10から20社分の魅力を掲載した冊子を作成し、配布する予定です。

②企業と若者との交流の場づくり

若者の早期離職の要因となるミスマッチの解消に向けて、若者と企業とが相互理解を深める交流の場づくりを行っています。

- ・11月末現在で、交流会を5回、大学生等による企業訪問を4回開催し、127人の参加がありました。（今後、交流会を5回、企業訪問を6回開催予定。）
- ・この事業の交流会に参加された方からは、
 - ・「これまで知らなかった企業を知ることができ参考になった」
 - ・「ホームページにない詳しい情報を知ることができた」
 - ・「企業の方と非常に近い距離で話すことができてよかった」

などと評価いただき、企業に対する理解を深めるために有効でした。一方、もう少し、学生同士で話す機会がほしいという意見もあり、学生間で意見交換、情報共有する時間を設定する必要性が新たな課題として把握できました。



企業と若者の交流会



企業訪問

- また、企業訪問に参加された方からは、
 - ・「就職前に実際の職場環境を見て社員の方々と直接話すことができたことがよかった」
 - ・「製造現場を初めて見て、とても参考になった」

などといった意見があり、現場での社員との意見交換の重要性が把握できました。

今後、これまでにいただいたご意見をふまえながら、若者の安定した就労に向けて、若者と企業との相互理解が強まるよう、取組を進めていきます。

(2) U・Iターン就職の促進

県内高校を卒業し県外大学へ進学した学生を呼び戻すとともに、県外出身者を呼び込むため、圏域ごとに取り組を進めています。(数字は11月末時点)

①首都圏における取組

- ・移住相談センターにおける就職相談 17件
- ・U・Iターン就職セミナー
移住相談センターにおいて2回開催(7月25日:16組17名、企業4社、10月25日:8名、企業4社、11月28日:11名、企業4社が参加)。
今後、12月21日及び1、2月に2回開催予定。
- ・大学訪問 48回(うち相談会3回)

②関西圏における取組

- ・関西事務所を使用した出張就職相談 7件
- ・U・Iターン就職セミナー
大阪、京都の各市内で、1、2月に各2回開催予定
- ・大学訪問 43回(うち9回は相談会、2回は保護者会)

③中京圏における取組

- ・U・Iターン就職セミナー
名古屋市内で、1、2月に2回開催予定
- ・大学訪問 42回(うち2回は相談会)

④県内における取組

- ・U・Iターン就職セミナー
アスト津で開催(8月15日:20名、企業4社が参加)



U・Iターン就職セミナー

これら各取組の中で、大学側からは「Uターンを希望する学生がいるため、引き続き、セミナー開催や求人情報を教えてほしい」「インターンシップを希望する学生が増えており、受入企業を増やしてほしい」といったご意見、ご要望をいただいております。今後、連携を強めていくことが、U・Iターン就職につながっていくものと考えています。

さらに、U・Iターン就職セミナー参加者からは、「三重県の企業情報がわかり、参考になった」という意見の一方で、「もっと個別企業の業務や詳細な求人情報を知りたかった」という意見をいただいております。県内企業の就職情報を充実させる必要性を感じています。

今後、学生の就職支援に熱心な大学と、さらに連携を深めるとともに、関係機関等と連携して、県内企業の魅力的な情報の発信に努め、U・Iターン就職を促進していきます。

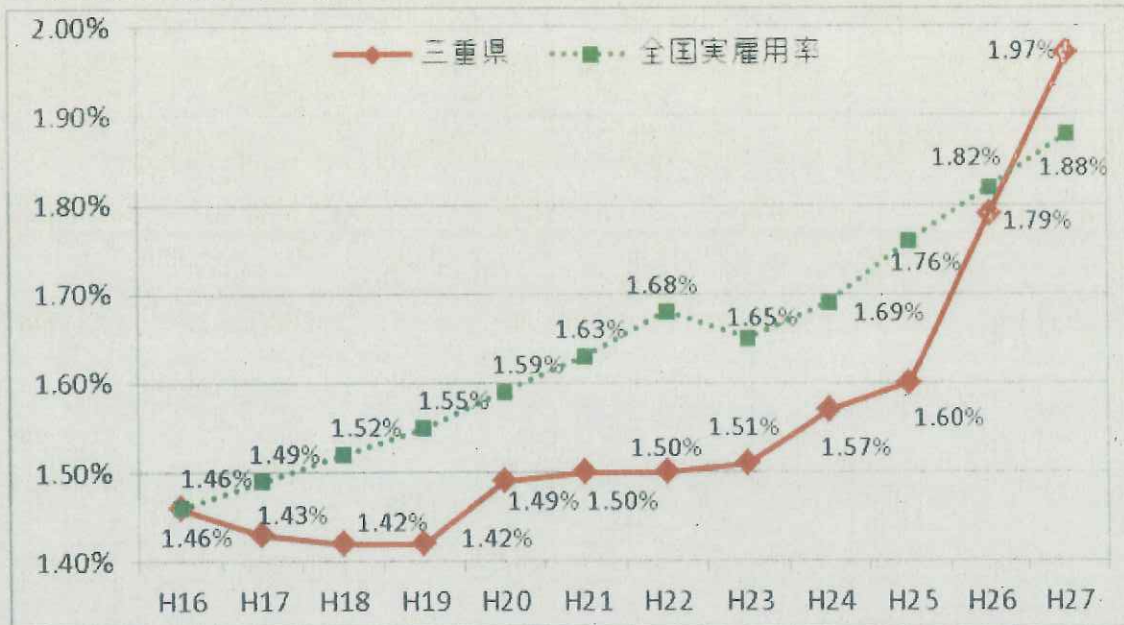
2 県内の民間企業における障がい者の雇用状況について

(1) 「平成 27 年障害者雇用状況の集計結果」について

平成 27 年 11 月 27 日に三重労働局から公表された、平成 27 年 6 月 1 日現在の県内の民間企業（県内に本社がある 50 人以上規模の企業：法定雇用率 2.0%）における「障害者雇用状況の集計結果」の概要は、次のとおりです。

- 障害者実雇用率は 1.97%【全国 20 位】（昨年 は 1.79%、33 位）
※対前年比伸び 0.18 ポイントは全国 1 位
- 雇用されている障がい者数は 3,448.5 人（前年より 371 人増加）
※過去最高
- 法定雇用率達成企業の割合は 55.7%【全国 18 位】（昨年 は 52.2%、21 位）

<障害者実雇用率の推移>



(2) 今後の取組

三重労働局と引き続き、強力に連携し、「障害者雇用率改善プラン 2016」により、障がい者雇用の促進に取り組んでいきます。

<「障害者雇用率改善プラン 2016」のポイント>

- 平成 30 年 4 月の精神障がい者の雇用義務化に伴う法定雇用率の見直しに早期に対応するため、平成 28 年 6 月 1 日現在の実雇用率の目標を 2.20%とします。
- 平成 30 年 4 月に向け、雇用率未達成企業及び雇用率が未達成となる見込みの企業に対し、障害者採用計画の前倒し等、積極的な雇用に取り組むよう、周知・啓発に努めます。
- 平成 28 年 4 月から施行となる、雇用の分野における障害者差別の禁止及び合理的配慮の提供義務について、様々な機会を通じて、企業に対し、周知・啓発に努めます。

3 “ひとをよびこむ” 三重版子どもしごと体験事業

子どもが三重の特色あるしごとの体験を通じて、その面白さや楽しさを実感するとともに、その体験を通じて得た専用通貨を用いて買い物などを行うことで、疑似経済活動を体験することができる魅力的なイベント（三重ジョブキッズキャラバン）を県内3カ所で、順次開催しています。

この事業では、警察官、消防士、新聞記者、病院等のしごとと、各地域における特色あるしごとを体験プログラムとしています。

①鳥羽地域

〔開催日時〕 平成27年11月28日（土）主会場：ドルフィン広場

〔開催実績〕 プログラム23種類、参加者数のべ434人

〔プログラム内容〕

- ・一般的なしごと・・・警察官、消防士、新聞記者、病院等
- ・鳥羽地域で特色あるしごと・・・観光のしごと（鳥羽水族館での飼育員、ミキモト真珠島での真珠加工職人や鳥羽国際ホテルでのコックなど）

〔参加者の声〕

- ・記者は、書く、見る、聞く力がつき、学びができる良い仕事だと思った。
- ・将来、水族館で働きたいと思っているので、とても勉強になり一歩近付いた気がした。
- ・真珠の出荷にたくさんの工程があることがわかり驚いた。毎日選別している人はすごいと思った。
- ・料理人の（パンケーキの）飾り付けがきれいで感動した。



鳥羽水族館でのえさやり体験

〔保護者の声〕

- ・実際に本物の仕事をしている人から直接指導してもらったことが良かった。
- ・三重に住んでいても知らないことがたくさんあり、貴重な体験で、子どもだけでなく親も楽しめた。

②鈴鹿地域

〔開催日時〕 平成28年1月23日（土）会場：鈴鹿サーキット

〔開催内容〕 プログラム28種類、参加者数のべ470人（予定）

〔プログラム内容〕

- ・一般的なしごと・・・警察官、消防士、新聞記者、病院等
- ・鈴鹿地域で特色あるしごと・・・サーキット関連や自動車等のものづくりに関するしごと、伝統産業のしごと

〔その他〕 12月中旬からWeb先行予約受付

③紀北地域

〔開催日時〕 平成28年3月19日（土）主会場：紀北町役場（予定）

〔開催内容〕 林業、水産業などのしごとを想定。参加者数のべ400人（予定）

今後、将来ずっと三重で働きたい、三重に行って仕事がしたいと感じていただけるよう、地元市町や協力企業・団体等と連携し、三重ならではの魅力的なしごと体験プログラムを実施し、県内へひとをよびこんでいきたいと考えています。

障害者雇用率改善プラン 2016

－三重県の障害者雇用率向上のための取組について－

三重労働局と三重県が強力に連携し、平成 30 年 4 月の精神障害者の雇用義務化に伴う法定雇用率の見直しに早期に対応するため、平成 28 年 6 月 1 日現在の民間企業における障害者実雇用率が 2.2%となることを目標に、次の取組を行います。

1 三重労働局と三重県との連携強化による取組

(1) 県民総参加による障がい者雇用の推進

- 企業、労働、福祉、教育等多様な分野の関係者で構成する「三重県障がい者雇用推進協議会」において、様々な意見をいただきながら、県民総参加の取組を促進します。
- ステップアップカフェ「Cotti 菜」を活用し、障がい者の一般就労への支援に加えて、障がい者を支える地域全体のステップアップを図っていく取組を進めます。
- 「三重県障がい者雇用推進企業ネットワーク」における、企業見学会等の活動を通じて、企業間の主体的な取組を支援し、企業での障がい者雇用につなげます。

(2) 県内企業に対する雇用支援等の強化

- 三重労働局と三重県は、法定雇用義務のある企業を主な対象とした、障害者就職面接会等の雇用支援や、セミナー等による、障がい者雇用の意識醸成、職場定着支援、人材育成支援について、連携した取組を強化します。
- 三重労働局と三重県は、連絡会議を開催し、障がい者雇用に係る情報の共有や課題の把握・分析を行うとともに、雇用率改善のための効果的な支援策を検討します。

(3) 県民カビジョン、みえ障がい者共生社会づくりプランにおける取組

- 現在策定中の「みえ県民カビジョン」第二次行動計画(仮称)及び「みえ障がい者共生社会づくりプラン」に基づき、関係機関と連携した取組を強化します。

2 三重労働局とハローワークの取組

(1) 三重労働局とハローワークの雇用率達成指導の強化

三重労働局とハローワークは、全ての雇用率未達成企業に対して訪問指導を実施し、阻害要因の把握に努め、採用に向けた提案を行い、可能な限り多くの企業が法定雇用率を達成できるよう指導・援助を行うこととします。

特に、地域に影響のある企業等に対しては、県・市町と合同で訪問指導を行います。

(2) 職場定着支援の強化

ハローワークは、障がい者が職業生活に適応できるよう障害者職業センターや地域の障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携した支援を推進します。また、平成 30 年 4 月 1 日の精神障害者の雇用義務化をふまえ、精神障がい者の職場定着を視野に入れた適格な職業紹介を推進します。

(3) 精神障害者が雇用義務化される平成 30 年 4 月に向け、雇用率未達成企業及び雇用率が未達成となる見込みの企業に対し障害者採用計画の前倒し等、積極的な雇用に取り組むよう周知・啓発を行います。

(4) 平成 28 年 4 月施行となる雇用の分野における障害者差別の禁止、合理的配慮の提供義務等について、労働局・ハローワークは、様々な機会を通じて周知・啓発に努めることとします。

平成 27 年 11 月 27 日

三重労働局長 川口 達三

三重県知事 鈴木 英敬

(9) 三重テラスの運営状況について (9月~11月)



MIE TERRACE

- ・ オープン以降の来館者数累計は 1,279,451人(平成27年11月末現在)です。
- ・ ショップ、レストラン、イベントスペースにおいて、三重の旬の魅力や季節行事・イベントに対応した旬の情報を発信し、三重への誘客や販路拡大につながる取組を展開しています。

TOPICS

2周年記念感謝祭 (9月23日~28日)

9月28日のオープン2周年を記念して、9月23日から28日に「2周年記念感謝祭」を開催しました。

「赤福茶屋」、「一日店長」、「COOL MIE スペシャルトークライブ」、「三重の応援団のつどい」等の多彩なイベント、レストランにおける旬の特別メニューの提供等を実施しました。

〔9/23~28の来館者数 17,147名〕



三重県新プロモーション発表会(9/26)



多度雅楽会による「秋の雅楽」(9/26)

イベントスペース



○ 尾鷲わっぱ企画展 (9月12~13日)

- むし熊3代目・世古効史氏を講師に迎え、尾鷲わっぱ製作体験や、製品及びパネルの展示等を実施。〔280名参加〕



- ついで~プロジェクト「きつつき」で、津の木がきっと、好きになる! (10月23日)
- 津市の木材を使った製品の展示や木工体験等を実施。「ついで」来場者数の累計1万人達成を記念して、市長から記念品を贈呈。〔265名来場〕



- 東紀州・紀北町の「うまいもん」大集合! 始神テラス×三重テラス (10月24~25日)
- 三重テラス「秋の収穫感謝祭」として紀北町の地域振興施設「始神テラス」との連携による地場製品の試食販売等を実施。〔1226名参加〕



- まこもな夜 ~ 菰野の真菰で「ゆる薬膳」 (10月29日)
- 菰野町の「マコモタケ」を使用した薬膳料理の試食&トークイベント。湯の山温泉の女将による観光PR、マコモタケや地酒の販売等も実施。〔36名来場〕



- 絵になるまち東海道関宿散策 (11月3日)
- 東海道関宿の茶屋を再現し、亀山茶と茶菓子のふるまいや、東海道関宿まちなみミニ文化講座、ローソク手作り体験等を実施。〔300名参加〕



- 伊賀産フードビジネスマッチングフェア (11月9日)
- 伊賀産米・肉・酒の取引先の開拓を目的に、首都圏の料理人や料理店オーナーを招待し、伊賀米、伊賀牛を使った料理のふるまいを実施。〔38名来場〕

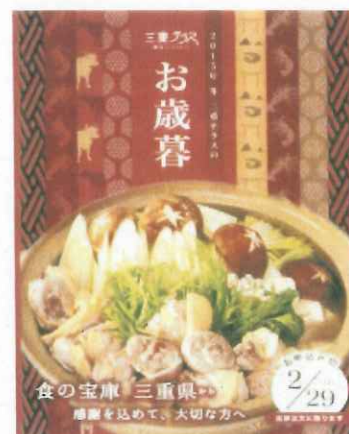
TOPICS

ショップ

- 伊勢志摩サミット・2周年記念など店頭ディスプレイによる販売訴求
- プレミアム商品券を利用した商品の販売促進の展開
- 【9月】
 - 納入業者等と連携した店内イベントの実施(真珠の展示即売会(9/12、27)、名張市特産品の試食(9/11、12、27)、太田酒造試飲(9/26)ほか)
 - 三重テラス2周年記念感謝祭イベントの一環として、赤福餅の期間限定特別販売(9/23~28)
- 【10月】
 - 日本橋地域のイベントにおける三重テラスPR(10/19~20 べつたら市、10/25 福徳市)
- 【11月】
 - 冬のカタログギフト販売の開始(11/3~2/29)
 - イベントスペースにおけるパールフェア(生産者による三重ブランド真珠展示即売会)の開催(11/21~23)
 - 年末商戦に向けた商品の取り扱い(注連縄11月中旬予約販売、12月販売開始)
 - お客様ご意見BOXの設置



パールフェア



冬のカタログギフト

レストラン

- 【9月】
 - プレミアム商品券(5,000円)を活用した伊勢海老パスタセット(通常8,700円)の提供
- 【10月】
 - 伊勢海老漁解禁に合わせた伊勢海老づくし特別メニューの提供
 - 松阪牛、伊勢海老、天然ハマグリなど、三重が誇るトップブランドの食材を贅沢に使った三重テラス2周年記念特別コースの提供
 - 伊勢市のイベントに連動させたメニュー(蓮台寺柿デザート)の提供
 - グルナビ、ホットペーパー等情報サイトを活用したクリスマスメニューのPR
- 【11月】
 - 三越三重展で好評を博した「伊賀牛ミスジのすき焼き丼」期間限定販売
 - グランドメニュー・パーティープランの変更



伊勢市との連携によるメニュー開発
(蓮台寺柿のタルトタタン)

DATA

1. 来館者状況

(単位:人)

	25年度計	26年度計	H27.4	5	6	7	8	9	10	11	H27計	累計
ショップ	227,655	480,839	34,369	39,042	36,594	47,964	54,615	52,991	52,172	47,271	365,018	1,073,512
レストラン	17,033	34,317	2,164	2,467	2,096	2,714	3,057	3,088	2,693	2,393	20,672	72,022
イベントスペース	30,555	51,365	5,430	5,130	5,830	7,975	9,862	4,780	8,190	4,800	51,997	133,917
合計	275,243	566,521	41,963	46,639	44,520	58,653	67,534	60,859	63,055	54,464	437,687	1,279,451
一日当たり平均	1,521	1,569	1,399	1,504	1,484	1,892	2,179	2,029	2,034	1,815	1,794	1,628

2. 売上状況

(税込・単位:千円)

	25年度計	26年度計	H27.4	5	6	7	8	9	10	11	H27計	累計
ショップ	60,616	103,695	8,490	10,028	8,952	11,089	11,536	15,591	12,001	11,012	88,699	253,010
レストラン	46,030	96,513	7,825	8,903	7,707	9,224	9,737	9,778	9,085	8,380	70,639	213,182
合計	106,646	200,208	16,315	18,930	16,659	20,313	21,273	25,370	21,087	19,392	159,338	466,192
一日当たり平均	589	555	544	611	555	655	686	846	680	646	653	593

*今年度の数値は速報値であり、今後修正が生じる可能性があります。

*端数処理の関係上、合計が一致しない部分があります。

(10) 国際展開の推進について

1 タイミッションの概要について

平成 27 年 11 月 19 日から 22 日まで、タイ経済産業交流ミッション団を派遣し、観光誘客促進や食の販路開拓に係るトップセールス、タイ投資委員会との産業連携に関する覚書の具現化と新たな協力関係の構築に取り組むとともに、アセアンへの物流ネットワークの強化に向けて四日市港をPRしました。

(1) 具体的な内容

[トップセールス]

タイ国際航空を訪問し、セントレアーバンコク便の増便や機内誌での本県の魅力発信への協力について依頼しました。また、三重県海外観光特使を委嘱したトランザ・グループのほか、富裕者層向けの旅行の取扱いを得意とするワールドプロを訪問し、タイから本県への旅行商品の造成促進に向けた意見交換を行いました。さらに、日系百貨店や現地高級日本料理店を訪問し、食をはじめとした県産品のPRを行いました。

▼タイ国際航空へのトップセールス

▼現地旅行会社（ワールドプロ）へのトップセールス



[産業連携]

タイ工業省を訪問し、工業大臣と意見交換を行うとともに、産業連携に関する覚書(MOU)を締結しました。また、平成 25 年 11 月に覚書(MOU)を締結したタイ投資委員会(BOI)も訪問し、工業省とBOI、三重県それぞれの強みを生かした産業連携の具体的な取組の推進についてBOI長官と意見交換を行いました。

▼タイ工業省とのMOU締結

▼タイ投資委員会との意見交換



〔四日市港のPR〕

四日市港セミナーに四日市港管理組合管理者である三重県知事として出席し、タイの現地貿易関連企業等に対し四日港の利用促進に関するトップセールスを実施しました。加えて、タイ最大の貿易港であるレムチャバン港を訪問し、タイ港湾公社の管理者と意見交換を行いました。タイは、四日市港にとって重要な貿易相手国であり、今回の訪問をタイをはじめとするアセアンへの物流ネットワークの強化につなげていきます。

▼四日市港セミナー開催



▼タイ港湾公社の管理者との意見交換



(2) 今後の対応

今回の訪問は、伊勢志摩サミットを契機に、三重が国際観光地としてさらにステップアップし、より世界に開かれた地域を目指していく上で、有意義な訪問となりました。これらを今後の本県の観光誘客や県産品の販路開拓等の取組に生かしていきたいと考えています。

2 その他の国際展開の推進に向けた取組について

MOU締結等で関係を強めたフランス、アメリカにつき、さらなるネットワークの強化を図るとともに、国際展開に向けた取組を深化させています。また、県産品のアジア市場への展開を促進するため、沖縄国際物流ハブを活用した事業を実施しています。

(1) MOUの具現化

①フランス（ヴァルドワーズ県との連携）

平成27年7月に同県との間で航空宇宙分野を重点分野とし、MOUを締結しました。今回、これに基づき、11月に、同県から代表団の来県を踏まえ、同県経済振興委員会（CEEVO）及び三重大学と連携し「フランス・ヴァルドワーズ県セミナー」を三重大学で開催しました。「ヴァルドワーズ県（ヨーロッパ経済の重要な地域）の紹介」、「航空宇宙分野などで躍進する企業、高等教育機関の集積と展望」、「コスメティック分野における産業交流」をテーマに、同県経済団体の代表者2名とバイオ産業大学学長が講演を行いました。

今後も、引き続き、ヴァルドワーズ県との航空宇宙分野での交流の深化に取り組んでいきます。



▲三重大学でのヴァルドワーズ県セミナー

〔四日市港のPR〕

四日市港セミナーに四日市港管理組合管理者である三重県知事として出席し、タイの現地貿易関連企業等に対し四日市港の利用促進に関するトップセールスを実施しました。加えて、タイ最大の貿易港であるレムチャバン港を訪問し、タイ港湾公社の管理者と意見交換を行いました。タイは、四日市港にとって重要な貿易相手国であり、今回の訪問をタイをはじめとするアセアンへの物流ネットワークの強化につなげていきます。

▼四日市港セミナー開催



▼タイ港湾公社の管理者との意見交換



(2) 今後の対応

今回の訪問は、伊勢志摩サミットを契機に、三重が国際観光地としてさらにステップアップし、より世界に開かれた地域を目指していく上で、有意義な訪問となりました。これらを今後の本県の観光誘客や県産品の販路開拓等の取組に生かしていきたいと考えています。

2 その他の国際展開の推進に向けた取組について

MOU締結等で関係を強めたフランス、アメリカにつき、さらなるネットワークの強化を図るとともに、国際展開に向けた取組を深化させています。また、県産品のアジア市場への展開を促進するため、沖縄国際物流ハブを活用した事業を実施しています。

(1) MOUの具現化

①フランス

平成27年7月に同県との間で航空宇宙分野を重点分野とし、MOUを締結しました。今回、これに基づき、11月に、同県から代表団の来県を踏まえ、同県経済振興委員会（CEEVO）及び三重大学と連携し「フランス・ヴァルドワーズ県セミナー」を三重大学で開催しました。「ヴァルドワーズ県（ヨーロッパ経済の重要な地域）の紹介」、「航空宇宙分野などで躍進する企業、高等教育機関の集積と展望」、「コスメティック分野における産業交流」をテーマに、同県経済団体の代表者2名とバイオ産業大学学長が講演を行いました。

今後も、引き続き、ヴァルドワーズ県との航空宇宙分野での交流の深化に取り組んでいきます。



▲三重大学でのヴァルドワーズ県セミナー

②アメリカ

現在、航空宇宙産業の集積地である米国ワシントン州及びテキサス州サンアントニオ市をパートナーとして、双方向の往来による企業間ネットワーキングやビジネスマッチングを促進するとともに、航空宇宙産業にかかる人材育成での連携に取り組んでいます。

本年11月、サンアントニオ市から、市議会議員を団長とした経済ミッション団が来県し、三重県知事と産業連携にかかる意見交換を行ったほか、県内の航空宇宙関連企業との交流会の実施や、企業視察を実施しました。平成28年2月には、三重県からの経済ミッション団の派遣を予定しており、現在、参加者を募集中です。

また、人材育成に関して、本年9月、ボーイング社と連携し、小学生を対象とした飛行機の仕組みなどを学ぶプログラムを、Mi e Muで実施しました。同社がこのようなプログラムを国内で実施するのは、三重県が初めてとなりました。



▲サンアントニオ市経済ミッション団との意見交換



▲ボーイング社と連携した人材育成プログラム

(2) アジア市場への県産品の販路拡大に向けた取組

平成27年11月より、24時間稼働でアジア市場へ高速配送が可能な沖縄国際物流ハブを活用し、県産品のアジア市場への展開、販路拡大等を促進する目的で、三重県内から那覇空港までの国内輸送費の一部を支援する三重県産品輸出支援事業を開始しました。

事業実施にあたり支援先となる県産品輸出事業者の募集を行ったところ、県内の食品を扱う事業者から応募があり、審査のうえ、支援先として決定させていただきました。

また、その後、11月末に開催されたアジア各国のバイヤーを対象とする展示・商談会「第2回沖縄大交易会」には、同事業にエントリーした県内事業者が参加しました。

なお、11月16日、「ANAホールディングス株式会社と三重県との連携と協力に関する覚書」を締結し、伊勢志摩サミットを契機として、地方創生に向けた様々な分野で、連携した取組を推進していくこととしました。今回の覚書に基づき、①三重県におけるグローバル化の推進、②観光の振興、③食を中心とした県産品の販路拡大、④航空分野における人材育成、の4つの分野を中心に、連携した取組を行っていく予定です。



▲ANAとの締結式（津市内）

沖縄国際物流ハブを活用した三重県産品輸出支援事業概要（イメージ図）

